

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	日本建築史小委員会		主 査 名：溝口 正人 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会		委員長名：石田潤一郎 主 査 名：
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本建築史研究成果の情報交換と研究の活性化 ・ 日本建築史研究者の相互批判と情報共有のための研究会の開催（関東、関西） ・ 文化庁補助による近代和風建築・近代化遺産調査の内容整理と総合化 ・ 日本建築史研究の成果の英語による発信。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 現在定員 14 名		
	主査：溝口正人 (名古屋市立大学) 幹事：清水重敦 (京都工繊大学) 委員：青柳憲昌 (立命館大学)、赤澤真理 (岩手県立大学)、梅津章子 (文化庁)、海野聡 (奈良文化財研究所)、大野敏 (横浜国立大学)、金出ミチル (長岡造形大学)、是澤紀子 (日本女子大学)、富島義幸 (京都大学)、野村俊一 (東北大学)、藤井恵介 (東京大学)、麓和善 (名古屋工業大学)、光井渉 (東京芸術大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2017 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 研究会に関しては、関西で近畿支部建築支部会研究会が組織され 2017 年度には「近世住宅の空間と構成」が開催された。 2. 近代和風建築・近代化遺産調査の総括の方法について意見交換を行った。 3. 『日本建築史図集』翻訳での用語など技術的な問題点が整理できた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 関東方面での研究会の活性化が課題である。 2. 『日本建築史図集』翻訳の膨大な作業量をどのように処理するか。 3. 情報発信として大会 PD の企画が準備不足から次々年度以降となった。